

29年度 数理物質科学研究科 物理学専攻 集中講義

科目名：原子核実験特講Ⅱ（01BC413）

題目：「J-PARCにおける基礎科学と産業利用」

講師：齊藤 直人氏（高エネルギー加速器研究機構・教授）

日程：

第1回	2/13	10:10 - 11:25	
第2回	2/13	12:15 - 13:30	
第3回	2/13	13:45 - 14:30	
第4回	2/14	10:10 - 11:25	
第5回	2/14	12:15 - 13:30	
第6回	2/14	13:45 - 15:00	
第7回	2/14	15:15 - 16:30	（セミナー）
第8回	2/14	16:45 - 18:00	
第9回	2/15	10:10 - 11:25	

場所：自然系棟D413セミナー室

連絡先：物理学専攻 三明 康郎（Tel:4254）

内容： Japan Proton Accelerator Research Complex (J-PARC) は、大強度の陽子ビーム加速器を基盤にした研究施設で、茨城県東海村に立地しています。素粒子・原子核物理学の研究から、物質・生命科学および産業利用まで広範なサイエンスをカバーする多目的研究施設です。

J-PARC は、平成 20 年の利用運転開始以来、順調に陽子ビームの強度を増すとともに、様々な成果を上げてきました。素粒子・原子核物理研究においては、ニュートリノ振動現象の解明や強い相互作用の研究、また物質・生命科学研究においては、新しい超伝導現象の発見や新材料物質の開発など、さまざまな科学的知見を着実に明らかにしています。

本講義では、J-PARC の実験施設と、そこで得られた最新の研究成果を紹介します。その研究成果から、物質の起源、生命の起源、また物質や生命の多様性の起源について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

